



News Release

2006年3月14日
株式会社ジュピターテレコム
(コード番号: 4817 JASDAQ)

一戸建て・小規模集合住宅向け 100Mbps 超の高速インターネット接続サービス実験を開始

株式会社ジュピターテレコム（J:COM、本社：東京都港区、代表取締役社長 最高経営責任者：森泉 知行）は、2006年3月下旬からケーブルテレビのHFC（光同軸ハイブリッド）ネットワークを利用した一戸建て・小規模集合住宅向け100Mbps超の高速インターネット接続サービスの商用化を視野に入れた実験を開始します。

本実験には、インターネット接続サービスの一層の高速化を実現する新たなケーブルモデムの標準規格（DOCSIS¹）であるDOCSIS 3.0で採用予定のチャンネル・ボンディング機能²を実装したセンター設備（CMTS³）とケーブルモデムを使用します。併せて、超高速インターネットサービスならではの付加サービスの検証を行い、他事業者との差別化と競争力向上に努めます。

複数の機器メーカー/ベンダーの協力を得て、アットネットホーム株式会社⁴（@NetHome、本社：東京都目黒区、代表取締役社長：深町俊幸）及び関西マルチメディアサービス株式会社⁵（KMS、本社：大阪市北区、代表取締役社長：今川哲夫）のケーブルISP2社と共同で実施します。今年の夏から秋にかけてJ:COMサービスエリアの一地域を選んでフィールドトライアルを行い、その結果と市場の動向を見すえ超高速インターネット接続サービスの商用化を検討する予定です。

インターネット接続サービス事業において100Mbps以上のサービスが主流となるなか、当社は昨年7月から、中・大規模集合住宅（20戸程度以上）を対象に100Mbps超のインターネット接続サービス「J:COM NET 光」を導入しています。今後は一戸建てや小規模集合住宅にサービス対象を拡大し、住宅の形態に関わらずお客様のご要望に応じて100Mbps超の高速インターネット接続サービスをご提供することについても検討していきます。

注)

1. DOCSIS (Data Over Cable Service Interface Specification) : ケーブルテレビのネットワーク上で高速データ通信を行うための仕様。

2. チャンネル・ボンディング機能：DOCSIS信号を複数束ねて（ボンディング）、従来のDOCSIS信号を数倍高速化する機能。
3. CMTS：Cable Modem Termination Systemの略。お客様宅内に設置するケーブルモデムと対向してケーブルテレビのヘッドエンドに設置するセンターモデム。ケーブルモデムとの間で信号を変復調する装置。
4. インターネット事業を展開するジュピターテレコムの子会社。
5. インターネット事業を展開するジュピターテレコムの連結子会社。

J:COMについて <http://www.jcom.co.jp/>

株式会社ジュピターテレコム（J:COM）は、1995年に設立された国内最大手のケーブルテレビ局統括運営会社です。札幌、関東、関西、九州エリアの19社34局*を通じて213万世帯以上（2005年12月31日現在）のお客様にケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話サービスを提供しています。ホームパス世帯（敷設工事が済みいつでも加入頂ける世帯）は790万世帯（2005年12月31日現在）です。主要株主は住商/LGI スーパーメディア、LLC.で、ジャスダック証券取引所に上場しています（コード番号：4817）。

** 2006年1月10日付で連結子会社となった六甲アイランド・ケーブルビジョンを含まず*

この発表文にはジュピターテレコムおよびその関係会社の将来または将来の経営予測に関する事項が含まれています。この発表文で述べまたは暗示しているこれらの事項には、各種のリスク・不確定な要素などが含まれており、従って、将来における当社の今後の実績・活動内容・業績などの実質的結果と異なることがあります。